



# クラス通信



木田幼稚園  
令和4年4月号

入園・進級して約1ヶ月が過ぎました。4月初めの頃はお母さんと離れる淋しさに泣いて登園している新入園のお子様も見られましたが、日が経つにつれて楽しみを見つけ、砂場で笑顔で遊んだり、ビオトープで生き物や植物を興味深そうに観察する様子が見られるようになりました。また、年長・年中組のお子様は年下の友達や泣いているお友達に優しく「大丈夫!」と声を掛け、手を差し伸べる姿が見られ嬉しく思います。まだまだ寒暖差があり、体調を崩すお子様も増えています。引き続き衣服の調節・水分補給に留意していきます。

## ★鯉のぼり制作

5月5日はこどもの日です。今年も、年長組と年中組で各一匹ずつ約2mの鯉型の布地を使って大きな鯉のぼりを作成しました。年長組では皆の顔を絵具で描き、裏には紙を好きな形に切り取りその上からタンポでカラフルに色つけをしました。年中組ではピンク・オレンジ・黄・黄緑の蛍光の絵の具を使って皆の手形と足形を押しました。年少組はビニール袋に鮮やかな色の花紙を丸めて入れた鯉のぼりの体を目をつけたり、鱗に見立てたバランを貼りました。きりん組は赤・青・桃・黄の好きな色のケント紙をペットボトルに貼った後、シール遊びでうろこ・尻尾をつけました。最後に入れたリンリンと鳴るかわいい鈴の音に嬉しそうな笑顔が見られました。



## ★ほし組

ほし組のお子様達は最年長クラスということ意識して自分の事だけではなく、困っているお友達や年下のお友達に優しく手を差し伸べることが出来るお兄さん・お姉さんに成長しています。年長組から新しく始まった漢字指導では、書き順・とめ・はね・はらいを意識して書くことを意識しながら取り組んでいます。Eeそろばんでは、そろばんの正しい扱い方を学びながら取り組み知識を増やせました。今後も小学校進学に向けて取り組んでいきます。



## ★ぺんぎん組

「先生、何かお手伝いありますか?」「僕がやってあげるよ!」「一緒にやろう!」クラスの中では毎日こんな声があちらこちらから聞こえてきます。年中組に進級し自分の事だけではなく周囲の友達や自分より小さな友達に目を向け気かけられる優しい心が持てるようになったお子様達。園生活の中での日々の取り組みを通して、自然と芽生えていくこのような気持ちを嬉しく思います。又、4月中は、当番表製作・壁面製作・こいのぼり製作・ファミリーデー製作と多くの製作にも取り組みました。道具(はさみ・のり・ボンド)の扱い方を再確認しながら多くの素材の中から1人ひとりがじっくり選び、工夫して製作が出来ました。



## ☆りす組

涙をこぼしながら登園してきたお子様も、今ではすっかり笑顔で元気にご挨拶する姿が見られるようになりました。

「自分のことは自分でやるんだよね」と意気込むお子様や、なかなかできなくて困っているお友達に「これは、こうするんだよ！」と教えてくれる優しい一面を見ることができました。

こいのぼり製作では鼻紙を丸め、小さな袋に入れる事、糊の量や塗り方を確認しながら丁寧に作り上げました。「かわいい～幼稚園のお外に飾りたいね」など一生懸命製作した作品を嬉しそうに掲げ、こいのぼりの歌を歌いながら季節の行事を楽しみました。



## ☆きりん組

1日1日と笑顔が増えてきたお子様達。朝、ゲートでご家族に見送られる時や入室する際は泣いたり、ぐずったりするお子様もまだ少し見受けられますが、どのお子様も活動が始まると楽しそうに参加しています。

歌唱・絵本・ビオトープ散策・戸外あそび・製作・音楽リズム生き物観察等それぞれのお子様達が興味がある事・好きなことを見つけて登園の喜びにつなげています。「登園を嫌がります」「先生 1人で遊んでいると言っているので心配です」等、保護者の方々から様々なお話やご心配の声が届いておりますが、温かいご家庭の中から初めて社会へ出て1つ1つ歩んでいるお子様達。まだ不安や緊張もあり、ご家庭やご家族への気持ちが強く泣いたりぐずったりしても当たり前です。1人ひとりの気持ちを受け止めしっかりとコミュニケーションをとり、「幼稚園って楽しい」と感じてもらえる様配慮していきますので、ご家族の方々も長い目で見て、笑顔で送り出してあげてください。

